

## 意見交換の論点

今後、公共交通におけるサービスの品質保証をしていくうえで、地域編の具体化が必要。

地域編を具体化していくためには、バス路線のあり方の抜本的な見直しや行政の支援のあり方等についての検討が必要であると考えられることから、以下について意見交換を行いたい。

### ○ バス路線のあり方について、どのような状態が理想的と考えるか

- ・ 利用状況や実態に鑑みて適切な路線となっているか
- ・ 通院・通学・観光における品質が保証されているか
- ・ 公的関与（役割分担や行政の支援）の方向性

### ○ 公共交通の利用促進について、どのような取組が必要と考えるか

- ・ 公共交通利用促進運動の展開
- ・ ローカル鉄道の利用促進

### ○ 交通空白地域への対応についてどのような取組が必要と考えるか

- ・ 自家用有償旅客運送（交通空白地・福祉）の活用
- ・ 許可・登録を要しない輸送の活用（スクールバス、病院・商業施設等の送迎サービス 等）

# 公共交通の利用促進の取組について

参考資料

## 1 県が参画する取組

取 組 内 容		実施時期
利用促進の呼びかけ・情報提供		
バス・電車ふれあいデー	・水曜日限定で利用できる回数券 ・「KURURU」ポイント付与 3 倍	通年
信州スマートムーブ通勤ウィーク	・2週間の期間中 1 日以上のノーマイカー通勤等を促進 ・期間中は「特別割引回数券」が平日いつでも利用可	年 1 回 (9月)
パーク&ライド情報提供	・県内のバス停、鉄道駅周辺の駐車場情報を県 HP に掲載	通年
行動変容の促進		
マイカー移動からの転換促進(モビリティ・マネジメント)	・県内4か所のモデル地域で企業・市町村と連携し、マイカーから公共交通機関への自発的な転換を促進	R6年度
利用しやすい環境の整備		
信州ナビ	・県内のバス・鉄道等の交通案内、観光情報を提供 ・バスロケーション機能の付いたアプリの運用(長野、松本)	通年
路線バスの経路検索サービス整備	・路線バスの経路を検索できるよう市町村や事業者のデータ整備を支援	通年
路線ごとの主な取組		
みすずハイウェイバス	・県職員への呼びかけ、市町村・企業向けにチラシ配布 ・SNS 媒体等を通じたアンケート等(予定)	R6年度
JR大糸線	・臨時バスによる増便の実証事業、旅行商品の造成等	R6年度
JR小海線	・アウトドアアクティビティ利用者向け列車の実証運行	R6年度

## 2 県内事業者・自治体等による取組

取 組 内 容		実施時期
バスの乗り方教室(事業者、市町村)	・小学生等を対象に自治体(長野市、松本市、上田市等)、バス事業者が実施	通年
信州バスまつり(長野県バス協会)	・長野県バス協会主催(開催場所は毎年持ち回り。2019 年以降は台風、コロナの影響等により未実施)	年 1 回
こども(小学生)無料乗車デー(長野電鉄)	・毎月第1・3土曜日等でこども(小学生)無料	4~9月
鉄道の増便(しなの鉄道)	・小諸市、御代田町、軽井沢町の3市町と連携し、小諸~軽井沢間で8便を増便	通年
居酒屋「お帰りきつぷ」(上田電鉄)	・上田駅前の居酒屋の飲食代金に応じて進呈	通年
鉄道イベント 等(鉄道会社各社)	・ビートルズ、地酒トレイン、ワイントレイン(長野電鉄) ・ふるさと鉄道まつり、しましま本店(アルピコ交通) ・115 系イベントツアー(しなの鉄道) ・丸窓まつり(上田電鉄) ・サイクルトレインの実施(JR 東日本飯山線) ・周遊型謎解きゲームの開催(JR 東日本篠ノ井線) ・イベント列車(飯田線秘境駅号)の運行(JR 東海飯田線) 等	イベントにより実施時期異なる
利用促進活動(私鉄長野県連)	・長野駅前、松本駅前において公共交通利用促進のチラシ配布(5/30 実施。今年度より県交通政策課参加)	年 1 回